

日本目録規則

Nippon Cataloging Rules

2018年版

日本図書館協会目録委員会編

第3部 関連

セクション8 その他の関連

第46章

個人・家族・団体間の関連

2018年12月25日 作成
2019年1月7日 公開
2022年1月28日 最終更新

* 問い合わせ先 日本図書館協会目録委員会: ncr@jla.or.jp

編集 日本図書館協会目録委員会
発行 公益社団法人日本図書館協会
〒104-0033 東京都中央区新川 1-11-14
Tel. 03-3523-0811 Fax. 03-3523-0841

更新履歴

日付	条項番号	更新内容	備考
2022. 1. 28	#46. 1. 1	「共同筆名」を「共有筆名」に修正	

第 46 章 個人・家族・団体間の関連

目次

#46 個人・家族・団体間の関連	2
#46.0 通則	2
#46.0.1 記録の目的	2
#46.0.2 記録の範囲	2
#46.0.2.1 エレメント	2
#46.0.3 情報源	2
#46.0.4 記録の方法	2
#46.0.4.1 関連先情報	2
#46.0.4.1A 識別子による記録	2
#46.0.4.1B 典拠形アクセス・ポイントによる記録	2
#46.0.5 関連指示子	3
<#46.1~#46.3 個人・家族・団体に関する各関連>	3
#46.1 個人・家族・団体と個人との関連	3
#46.1.0 通則	3
#46.1.1 記録の方法	3
#46.1.2 関連に関する説明	4
#46.2 個人・家族・団体と家族との関連	5
#46.2.0 通則	5
#46.2.1 記録の方法	5
#46.2.2 関連に関する説明	5
#46.3 個人・家族・団体と団体との関連	6
#46.3.0 通則	6
#46.3.1 記録の方法	6
#46.3.2 関連に関する説明	7
<#46.4~#46.5 管理要素>	7
#46.4 出典	7
#46.5 データ作成者の注記	7

#46 個人・家族・団体間の関連

#46.0 通則

#46.0.1 記録の目的

個人・家族・団体間の関連の記録の目的は、次のとおりである。

- a) 特定の個人・家族・団体と関連を有する、個人・家族・団体を発見する。
- b) 個人・家族・団体を介した関連する実体を示すことにより、個人・家族・団体の識別に寄与する。

#46.0.2 記録の範囲

個人・家族・団体間の関連とは、ある個人・家族・団体が、他の個人・家族・団体に対して有する関連である。

同一の個人・家族・団体の、異なる名称との間の関連をも含む。

#46.0.2.1 エレメント

個人・家族・団体間の関連には、次のエレメントがある。

- a) 個人・家族・団体と個人との関連（参照：#46.1 を見よ。）
- b) 個人・家族・団体と家族との関連（参照：#46.2 を見よ。）
- c) 個人・家族・団体と団体との関連（参照：#46.3 を見よ。）

#46.0.3 情報源

個人・家族・団体間の関連は、どの情報源に基づいて記録してもよい。

#46.0.4 記録の方法

関連先情報を用いて、または関連先情報と関連指示子を用いて、関連を記録する。

必要に応じて、関連に関する説明、管理要素を記録する。

#46.0.4.1 関連先情報

関連先となる個人・家族・団体を識別できる情報を、次のうち一つ以上の方法によって記録する。

- a) 識別子
- b) 典拠形アクセス・ポイント

#46.0.4.1A 識別子による記録

関連先の個人・家族・団体に付与された国際標準番号、またはそれに代わる標準システムの番号等を記録する。

記録する識別子は、関連先の実体を一意に識別できるものでなければならない。

当該識別子の管理機関が定める形式に基づき、識別子の種類が明確に示されるように記録する。

（参照：識別子については、#6.18、#7.10、#8.12 を見よ。）

#46.0.4.1B 典拠形アクセス・ポイントによる記録

関連先の個人・家族・団体に対する典拠形アクセス・ポイントを記録する。

（参照：典拠形アクセス・ポイントの構築については、#26～#28 を見よ。）

#46.0.5 関連指示子

個人・家族・団体間の関連の詳細を表すために必要な場合は、関連先の個人・家族・団体の識別子および（または）典拠形アクセス・ポイントに、関連指示子を付加する。

個人・家族・団体が有する関連が複数の種類に及ぶ場合は、複数の関連指示子を記録する。

関連指示子は、付録#C.4 に列挙する用語から、データ作成機関が必要とする詳細度のものを記録する。適切な用語がない場合は、データ作成機関が関連の種類を示す簡略な用語を定めて記録する。

<#46.1~#46.3 個人・家族・団体に関する各関連>

#46.1 個人・家族・団体と個人との関連

個人・家族・団体と個人との関連は、エレメントである。

#46.1.0 通則

#46.1.1 記録の方法

関連先となる個人を識別できる情報を、次のうち一つ以上の方法によって記録する。

- a) 識別子
- b) 典拠形アクセス・ポイント

(参照: #46.0.4.1 を見よ。)

<識別子>

<個人と個人との関連>

別名: 国立国会図書館典拠 ID: 00103020

(栗本薫に対する国立国会図書館の典拠 ID)

(関連元: 中島, 梓, 1953-2009)

別名: 国立国会図書館典拠 ID: 00015619

(藤子不二雄に対する国立国会図書館の典拠 ID)

(関連元: 藤子, 不二雄 A, 1934-; 藤子, 不二雄 F, 1933-1996)

Alternate identity: VIAF ID: 7376791

(Ellery Queen に対する VIAF ID)

(関連元: Dannay, Frederic, 1905-1982; Lee, Manfred B. (Manfred Bennington), 1905-1971; Ross, Barnaby)

(Dannay と Lee が Queen を共有筆名として使用。Ross も同じく共有筆名だが、Queen の筆名とされている。)

<家族と個人との関連>

家族構成員: NACSIS-CAT 著者名典拠レコード ID: DA00650742

(吉行淳之介に対する NACSIS-CAT 著者名典拠レコード ID)

(関連元: 吉行 (家) (東京都))

<団体と個人との関連>

構成員: VIAF ID: 108716715

(忌野清志郎に対する VIAF ID)

(関連元: RC サクセッション)

最高責任者: ISNI: 0000 0001 0868 1638

(阿部謹也に対する ISNI)

(関連元: 一橋大学)

<典拠形アクセス・ポイント>

<個人と個人との関連>

別名: 中島, 梓, 1953-2009

(関連元: 栗本, 薫, 1953-2009)

本名: 古賀, 英正, 1908-2004

(関連元: 南条, 範夫, 1908-2004)

別名: 藤子, 不二雄

(関連元: 藤子, 不二雄 A, 1934-; 藤子, 不二雄 F, 1933-1996)

(共有筆名)

Alternate identity: Queen, Ellery

(関連元: Dannay, Frederic, 1905-1982; Lee, Manfred B. (Manfred Bennington), 1905-1971; Ross, Barnaby)

(Dannay と Lee が Queen を共有筆名として使用。Ross も同じく共有筆名だが、Queen の筆名とされている。)

<家族と個人との関連>

家族構成員: 吉行, 淳之介, 1924-1994

(関連元: 吉行 (家) (東京都))

<団体と個人との関連>

構成員: 忌野, 清志郎, 1951-2009

(関連元: RC サクセッション)

最高責任者: 阿部, 謹也, 1935-2006

(関連元: 一橋大学)

#46.1.2 関連に関する説明

関連に関する説明は、エレメントである。

必要に応じて、関連に関する説明を記録する。

古賀, 英正, 1908-2004

経済関係の著書では本名を使用。小説では以下を見よ。

南条, 範夫, 1908-2004

(典拠形アクセス・ポイントにおける参照に説明を加えた例)

栗本薫は小説で、中島梓は評論活動などで使用。本名は今岡純代

忌野清志郎はリーダー

阿部謹也の在任期間: 1992 年 12 月 - 1998 年 11 月

#46.2 個人・家族・団体と家族との関連

個人・家族・団体と家族との関連は、エレメントである。

#46.2.0 通則

#46.2.1 記録の方法

関連先となる家族を識別できる情報を、次の一つ以上の方法によって記録する。

- a) 識別子
- b) 典拠形アクセス・ポイント

(参照: #46.0.4.1 を見よ。)

<識別子>

<個人と家族との関連>

家族: VIAF ID: 256354483

(吉行 (家) (東京都)に対する VIAF ID)

(関連元: 吉行, 淳之介, 1924-1994)

<家族と家族との関連>

後裔の家族: VIAF ID: 254778823

(足利 (氏)に対する VIAF ID)

(関連元: 源 (氏))

<団体と家族との関連>

創設者一族: 国立国会図書館典拠 ID: 00630002

(伊藤 (家) (名古屋市)に対する国立国会図書館の典拠 ID)

(関連元: いとう呉服店)

<典拠形アクセス・ポイント>

<個人と家族との関連>

家族: 吉行 (家) (東京都)

(関連元: 吉行, 淳之介, 1924-1994)

<家族と家族との関連>

後裔の家族: 足利 (氏)

(関連元: 源 (氏))

<団体と家族との関連>

創設者一族: 伊藤 (家) (名古屋市)

(関連元: いとう呉服店)

#46.2.2 関連に関する説明

関連に関する説明は、エレメントである。

必要に応じて、関連に関する説明を記録する。

「伊藤 (家) (名古屋市)」は「いとう呉服店」の開業者

後裔の足利氏は、平安時代末期に源義康が下野国足利荘（現在の栃木県の一部）に
拠って称したのが始まり

#46.3 個人・家族・団体と団体との関連

個人・家族・団体と団体との関連は、エレメントである。

#46.3.0 通則

#46.3.1 記録の方法

関連先となる団体を識別できる情報を、次の一つ以上の方法によって記録する。

- a) 識別子
- b) 典拠形アクセス・ポイント

(参照: #46.0.4.1 を見よ。)

<識別子>

<個人と団体との関連>

個人による創設団体: 国立国会図書館典拠 ID: 00307354

(津田塾大学に対する国立国会図書館の典拠 ID)

(関連元: 津田, 梅子, 1864-1929)

<家族と団体との関連>

家族による創設団体: 国立国会図書館典拠 ID: 00528987

(いとう呉服店に対する国立国会図書館の典拠 ID)

(関連元: 伊藤 (家) (名古屋市))

<団体と団体との関連>

下位団体: 国立国会図書館典拠 ID: 00996830

(京都大学東南アジア研究所に対する国立国会図書館の典拠 ID)

(関連元: 京都大学)

前身団体: 国立国会図書館典拠 ID: 00421770

(京都大学東南アジア研究センターに対する国立国会図書館の典拠 ID)

(関連元: 京都大学, 東南アジア研究所)

後身団体: 国立国会図書館典拠 ID: 00996830

(京都大学東南アジア研究所に対する国立国会図書館の典拠 ID)

(関連元: 京都大学, 東南アジア研究センター)

<典拠形アクセス・ポイント>

<個人と団体との関連>

個人による創設団体: 津田塾大学

(関連元: 津田, 梅子, 1864-1929)

最高責任者としての在任団体: 一橋大学

(関連元: 阿部, 謹也, 1935-2006)

<家族と団体との関連>

家族による創設団体: いとう呉服店

(関連元: 伊藤 (家) (名古屋市))

<団体と団体との関連>

下位団体: 京都大学. 東南アジア研究所

(関連元: 京都大学)

前身団体: 京都大学. 東南アジア研究センター

(関連元: 京都大学. 東南アジア研究所)

後身団体: 京都大学. 東南アジア研究所

(関連元: 京都大学. 東南アジア研究センター)

#46.3.2 関連に関する説明

関連に関する説明は、エレメントである。

必要に応じて、関連に関する説明を記録する。

「いとう呉服店」は「伊藤 (家) (名古屋市)」によって開業

津田梅子が 1900 年女子英学塾として創設

昭和 16 年郡山商業銀行、会津銀行、白河瀬谷銀行が合併し東邦銀行となる

2004 年 4 月京都大学東南アジア研究センターから京都大学東南アジア研究所に名称変更

1988 年 7 月東京天文台、緯度観測所、名古屋大学空電研究所第三部門を改組統合し、国立天文台が発足

<#46.4~#46.5 管理要素>

#46.4 出典

出典は、エレメントである。

個人・家族・団体の間の関連の決定に使用した情報源と、その簡略な説明を記録する。

「藤子不二雄」は、藤子・F・不二雄の旧筆名 (日外アソシエーツ. 20 世紀日本人名事典, 2004, p. 2178)

別名: 中島, 梓, 1953-2009 (Web NDL Authorities (2015/09/17 アクセス))

昭和 16 年に郡山商業銀行、会津銀行、白河瀬谷銀行の 3 行を合併して設立 (東邦銀行沿革 (2015/07/09 同行ホームページにアクセス))

#46.5 データ作成者の注記

データ作成者の注記は、エレメントである。

関連データを利用・訂正するときや、関連する個人・家族・団体に対する典拠形アクセス・ポイントを構築するときや、役立つと思われる情報を記録する。

藤子不二雄 (典拠形アクセス・ポイント) は、1954 年からコンピを解消する 1987 年まで使用

典拠 ID: X000513 とは別人